

施工段階		屋上工事		5	設備工事： 屋上配管・配線・ダクト工事	シート番号 5-2
電気	空調	衛生	その他			
○	○	○	—			

ポイント

■事前の屋上配置計画が重要

- ・ 建築、電気、衛生、空調担当で意見を出し合い、総合図を作成しましょう。取り合いが複雑な部分はパース等を作成し、関係者全員で共通認識を図ることが重要になります。
- ・ メンテナンスの為に動線や設備機器の保有距離、更新工事を考慮した計画としましょう。

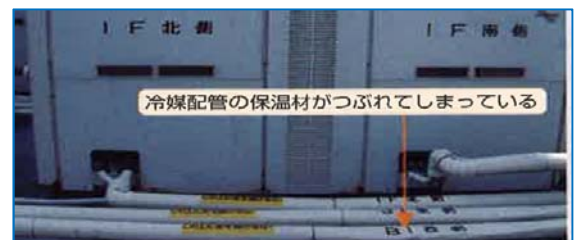


■ダクトや配管の貫通処理を適切に行うことで、漏水リスクを低減

- ・ ハト小屋の配管貫通部の底の出は、配管貫通部の下部シーリングが雨線内に入らないようにします。
- ・ ハト小屋の屋根面には勾配を設けます。
- ・ 配管・ダクトは貫通部の前後で支持をとります。

先輩アドバイス

- ・ メンテナンススペースが確保されていても、そこまでたどり着くための動線を配管やダクトが妨げている場合があるので、入念に計画を進めましょう。



チェック項目

- メンテナンス動線は確保されていますか。
- メンテナンス動線上に障害物はありませんか。
- 貫通部の止水処理は適切に施工されていますか。

失敗すると...

- ・ 配管等の上部を歩くことになり、メンテナンスが困難になります。また、配管や保温材を傷めてしまい劣化を早めたり、破損させてしまう可能性もあります。点検用歩廊等で保護したり、歩行用の配管用ダクトを使用して人が乗っても耐えられる対策を施しましょう。



共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
		-	-	○	-	-	-	-	-
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂		